

現在、歯科医療の現場やヘルスケア分野で特に注目されている**主要な 4 つのトレンド**を分かりやすく解説します。

1. 「国民皆歯科検診」の義務化に向けた動き

国が主導して、全国民が定期的に歯科検診を受ける仕組み（国民皆歯科検診）の導入検討が進められています。

- 背景：歯周病やむし歯を放置することが、糖尿病、心疾患、認知症などの全身疾患の悪化につながるということが科学的に証明されてきました。
- 目的：定期的なお口のメンテナンスにより、国民の健康寿命を延ばし、結果として国全体の医療費を抑制することを目指しています。

2. デジタル歯科医療(DX)の急速な普及

最先端のデジタル技術が、実際の治療現場に広く導入されています。

- 口腔内スキャナー(3Dスキャナー)：従来の粘土のような型取り(印象採得)の代わりに、小型カメラで口の中を撮影するだけで、精密な 3D データを採ることができます。
- AI 診断の活用：レントゲンや CT 画像から、AI がむし歯の初期症状や骨の減少を瞬時に検知し、歯科医師の診断をサポートするシステムが普及し始めています。

3. 口腔機能低下症(オーラルフレイル)への対策

高齢化社会に伴い、「口の機能の衰え(オーラルフレイル)」が重要視されています。

- 症状：「食べこぼしが増えた」「固いものが噛みにくい」「むせやすい」「滑舌が悪くなった」といった些細な衰えのことです。
- 対策：これらを早期に発見し、お口の体操やリハビリを行うことで、要介護状態になるのを防ぐ取り組みが全国の歯科医院で強化されています。

4. 審美・矯正歯科のニーズ拡大と技術の進化

見た目と機能性の両立を求める人が増えています。

- マウスピース矯正：透明で目立たないマウスピース型矯正装置の需要が、若年層からビジネス層まで高く維持されています。
- メタルフリー治療：銀歯ではなく、体に優しく見た目も自然なセラミックやジルコニア、CAD/CAM 冠(保険適用拡大中)を選ぶ人が増加しています。